

雄略天皇

【之】

01

而刺殺之

刺し殺(し)せまつりつ

天皇使使乞之

天皇使いを使わして乞ふ

盛之一棺

一棺に盛れて

02

天皇尚誅之

天皇、尚(みな)誅したまひつ

05

七廻喚之

七廻(ななたび)喚(め)しき

08

由是皇太后與皇后聞之

是に由りて皇太后と皇后、聞(きこ)しめて

10

因其不意而打殺之

因りて其不意(ゆくりもなく)して打ち殺しつ

割而觀之

割きて觀れば

13

歌賦之

歌賦(うたよみ)して

14

興感止之

感を興して止めまつりたまふ

21

試往捉之

試みに往りて捉へむ

22

競令闘之

競ひて闘はしむ

24

而顧謂之

而して顧(ひそ)かに謂りて

其典馬聞之

其の典馬聞きて

皆具為説之

皆具(つぶさ)に爲説(い)ふ

急進攻之

急に進み攻(う)たしむ

大破之

大いに破る

25

天皇聞之

天皇聞しめて

乃遣難波日鷹吉士將誅之

乃ち難波の日鷹の吉士を遣して、誅さしめた
まふ

26

於是大伴室屋大連具陳之
是に大伴室屋大連具に陳ぶ

人告之
人告げて

津麻呂聞之
津麻呂聞きて

27

願固守之
願はくは固く守れ

大連即為奏之
大連即ち為に奏したまふ

作冢墓於田身輪邑而葬之
冢墓を田身輪に作りて葬(かく)さしむ

28

伯孫就視而心欲之
伯孫就(ちかつ)き視て、心に欲す

眠之
眠る

伯孫心異之
伯孫心に異(あやし)びて

33

天皇聞而使聚積之
天皇聞こしめて聚積(つ)ましめたまふ

36

目大連聞而奏之

目大連、聞きて奏す

37

抜刀斬之
刀を抜きて斬る

38

終日斷之不誤傷刃
終日に斷(けず)れども誤りて刃を傷(やぶ)ら
ず

止而赦之
止めて赦(ゆる)したまふ

42

前迎使時又亦著之
前に使を迎ふる時に、又亦著(せ)りき

乃將欲斬之
乃ち將に斬らんとす

故収殺之
故、収(とら)へて殺しつ

43

天皇愛寵之
天皇、愛(うつくし)び寵(めぐ)みたまふ

47

目連即獲朝日郎斬之
目連即ち朝日郎を獲へて斬(ころ)しつ

天皇聞之怒
天皇聞こしめて怒りたまふ

49

臣毎見之
臣、見る毎に

請遂徐之
請はくは逐ひ徐(はら)はむ

遂止之
遂に止む

57
乃相謂之
乃ち相謂(かた)りて

盡逼殺之
盡に逼(せ)め殺しつ

【よくわからない訓読】

27

専用威命
ころたちぬ

28

驅驚迅於滅没

驅(はし)り驚(さきだ)つ迅(ときかたち)滅(ほ
るかも)にして没(う)せぬ